

令和元年度商店街サポーター創出・活動支援事業成果発表会 質疑応答

■有限会社アークデザイン

評価：アンテナショップのある動物園前一番街の商店街だけでなく、西成区全体の商店街、企業の魅力を実店舗のアンテナショップとホームページで発信するとともに、まちめぐりツアーも行い実際に参加者が店に、企業に足を運んでもらい体験していただく。西成区の良いもの、良い店を知っていただく、なかなか興味のある取組みとなった。商品の利益率が低い、アンテナショップ継続店舗の確保、集客の向上など、課題も発見できた。

Q：当初の目標であった観光客への西成区の魅力認知度アップ、SNSでの投稿数の増加、満足度アップについてはどうだったのか。

A：新型コロナウイルスの影響で2019年末から外国人観光客が著しく減ったが、アンテナショップの目標累計来店者数1,000人を超える1,386人の来店がありました。内248人が西成区以外からの日本人観光客、145人が外国人観光客であり観光客合計は来店者数全体の28%に当たります。新型コロナウイルスの影響が出る前の11月は月度来店者の50%が西成区以外からの観光客という結果も出ました。またアンテナショップの取扱商品は売り上げが毎月前月越えするに至りました。以上の点から西成区の魅力認知度アップに貢献できたと考えます。

また、西成区の商店街、商店、企業を訪問、紹介するまちあるきツアーは事業期間中、5回開催(第6回は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止)し、目標累計参加者数60人に対し54名が参加。約70%が西成区以外からの参加者という結果が出ています。

ツアーのアンケートでは、ほぼ100%満足という回答を、さらに今後も期待する声もいただきました。

SNSの投稿数も月を追うごとに増加させていきましたが、外国人に向けての配信が出来ていなかった。今後のプロモーション強化の課題として取り組んでいきます。

Q：商店街のキラーコンテンツとして具体的にどのようなものが育ったのか。

A：西成区まちめぐりツアーです。訪問先の商店街、商店、企業からの評判もよく、参加者の満足度も大変高い。

本事業期間中は無料で開催していましたがアンケートでも参加者の60%が1,000円～3,000円の参加料が取れると回答しており、本事業の収益部分を期待できるコンテンツであると考えます。今後は参加料以外での収益構造の構築(商店街内の飲食店とタイアップした食事提供や西成区ゆかりのお土産の販売など)とツアー協力企業、商店、

ツアーコースの発掘、開発、整備をすすめていきます。

Q：当初、本事業期間中に、西成商事の法人化が予定されていたが、そのスケジュールに遅れが出ているということだが、今後の資金調達も含め、どう対応するのか。

A：西成商事法人化に向け、本実証事業を行った結果、自立化に向けては特に収益構造の課題が見えてきました。

アークデザイン、動物園前一番街を始め賛同企業とともに2月から発足した設立協議会において、商品販路の整備、拡大、利益率の高い魅力のある商品やオリジナル商品の取扱い、ものづくり体験やアーティストショーも鑑賞できる有料のまちめぐりツアー等の事業も検討しています。

さらに、実店舗のアンテナショップとともに、ネットショップも立ち上げ、その相乗効果で、事業のPR・収益・集客を拡大していく予定です。

なお、この設立協議会には金融機関にも入っていただいております。事業内容や収益構造の構築のアドバイスもいただいております。法人設立と事業の継続にあたっては、事業収入のほか、金融機関のファンド等の活用も検討しており、今後とも早期設立に向け、頑張っていきます。